

## 基本情報

指標番号  
2138

名称  
急性膵炎に対する入院2日以内の造影CT実施割合

分母  
急性膵炎で退院した症例

分子  
分母のうち、入院日から2日以内に造影CTが施行された症例

指標群  
消化器系

意義  
急性膵炎においては、診断、重症度判定のため造影CT検査を施行することが勧められている

年度  
2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

必要データセット  
DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に退院した症例を対象とする
2. このうち、急性膵炎で入院した症例。入院の契機となった傷病名に下記の ICD-10 コードが該当すれば対象とする

ICD-10 コード	病名
K85	急性膵炎 (ICD10 ver.2003)
K85\$	急性膵炎 (ICD10 ver.2013)

3. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

### 分子の定義

1. 入院2日以内に造影CT検査を受けた症例。EFファイルで入院日または入院日翌日に下記のいずれかが請求されている症例

レセ電コード	名称	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
170012070	造影剤使用加算 (CT)	○	○	○	○	○	○	○

## その他

薬剤一覧の出力  
いいえ

リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

パーセント

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 急性膵炎においては、診断あるいは重症度の判定のためにCTの施行が勧められている。2010年ガイドラインでは「CTを施行すべきである」となっていたが、2015年ガイドラインには「積極的に造影ダイナミックCTを施行すべきである（中略）単純CTのみでは原因となる膵腫瘍が見逃される危険性が高い」となった。2021年ガイドラインでは「造影ダイナミックCTを施行することで診断のみならず重症度、合併症、成因の精査にも有用である」となっている。

### 参考資料

#### 参考値

#### 参考資料

1. 急性膵炎診療ガイドライン 2010
2. 急性膵炎診療ガイドライン 2015
3. 急性膵炎診療ガイドライン 2021